

# 維持管理要領書 (別冊)

固液分離型流量調整付

担体流動循環方式

ダイキ浄化槽

## XE-5・7・10F 型

この「維持管理要領書(別冊)」は、マイナーチェンジ前の製品について現行製品と管理方法が異なる箇所についてまとめております。マイナーチェンジ前の製品の維持管理を行われる際は本書をよくお読みの上、正しい維持管理を行ってください。



# 1. はじめに

XE 型はこれまでにいくつかのマイナーチェンジを行っております。現行の維持管理要領書は、最新の型式について説明しているため、マイナーチェンジ前の製品とは点検方法と保守作業内容が異なる箇所がございます。

この「維持管理要領書(別冊)」は、マイナーチェンジ前の製品について現行製品と点検方法と保守作業内容が異なる箇所についてまとめております。本書に記載がないこと(点検方法と保守作業の一部およびそれ以外の内容)については、現行の維持管理要領書に従って維持管理を行ってください。

## 2. 点検方法と保守作業

各槽での点検項目と異常な状態の目安及び対策は以下のとおりです。

### (1) 汚泥貯留槽

最新の維持管理要領書をご参照ください。

### (2) 移送装置①

※移送用バルブの種類



マイナーチェンジ前  
(開度設定が使用人員表示)

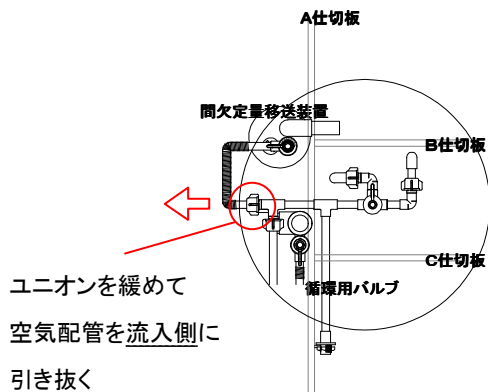


現行  
(開度設定がパーセント表示)  
※変更時期:平成27年5月

点検項目	点検方法	異常な状態	対策																
① 間欠定量移送装置	移送用バルブの設定の確認。	<ul style="list-style-type: none"> <li>移送水量が日平均汚水量の 5～6 倍より大幅にずれている。</li> <li>放流していない(満水である)。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>人槽表示を上位の人槽に設定する。(5人→7人、7人→10人、10人→10人強)</li> <li>日平均汚水量の 5～6 倍になるよう調整する。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人槽</th> <th>5</th> <th>7</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移送水量 (L/min)</td> <td>3.5</td> <td>4.9</td> <td>6.9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～</td> <td>～</td> <td>～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.2</td> <td>5.8</td> <td>8.3</td> </tr> </tbody> </table>	人槽	5	7	10	移送水量 (L/min)	3.5	4.9	6.9		～	～	～		4.2	5.8	8.3
人槽	5	7	10																
移送水量 (L/min)	3.5	4.9	6.9																
	～	～	～																
	4.2	5.8	8.3																

(2) 移送装置②

※間欠定量移送装置の種類(変更時期:平成 27 年月)



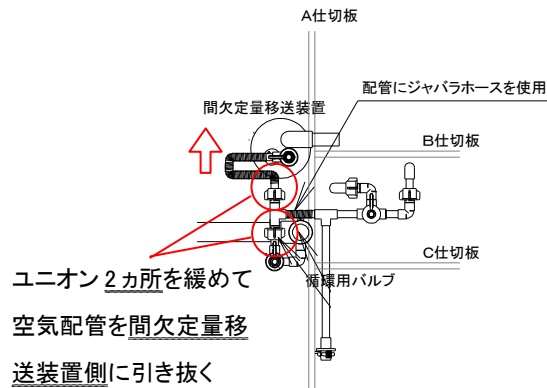
ユニオンを緩めて  
空気配管を流入側に  
引き抜く

マイナーチェンジ前①

(空気配管がジャバラホースで

間欠定量移送装置に向かうユニオンが流入側を向いている)

※変更時期:平成 26 年 5 月



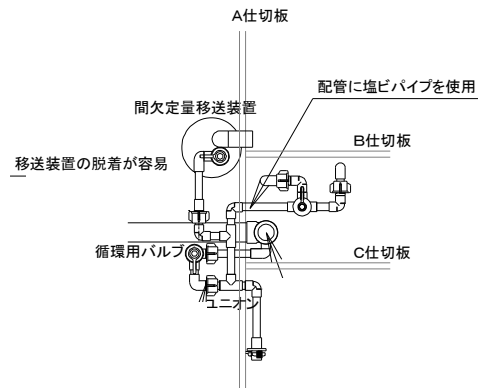
ユニオン 2カ所を緩めて  
空気配管を間欠定量移  
送装置側に引き抜く

マイナーチェンジ前②

(空気配管がジャバラホースで

間欠定量移送装置に向かうユニオンが装置側を向いている)

※変更時期:平成 26 年 9 月



移送装置の脱着が容易

現行

(空気配管が塩ビ配管)

※間欠定量移送装置の外し方(マイナーチェンジ前①)

- ①ユニオンを緩めて、エア配管を流入口側に引き抜く。
- ②吐出管を流入口側へ引き、アームから取り外す。
- ③間欠定量移送装置を持ち上げる。

※間欠定量移送装置の外し方(マイナーチェンジ前②)

- ①ユニオン 2カ所を緩めて、間欠定量移送装置側に引き抜く。
- ②吐出管を流入口側へ引き、アームから取り外す。
- ③間欠定量移送装置を持ち上げる。

(2) 移送装置③


※循環用バルブの種類



マイナーチェンジ前  
(開度設定が範囲表示)



現行  
(開度設定がパーセント表示)  
※変更時期:平成 27 年 5 月

点検項目	点検方法	異常な状態	対策																
② 循環水移送装置	循環用バルブの設定の確認。	<ul style="list-style-type: none"> <li>移送水量が日平均汚水量の 3～4 倍より大幅にずれている。</li> <li>放流していない(満水である)。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>日平均汚水量の 3～4 倍になるよう調整する。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1067 920 1458 1077"> <thead> <tr> <th>人槽</th> <th>5</th> <th>7</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環水量 (L/min)</td> <td>2.1</td> <td>2.9</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>～</td> <td>～</td> <td>～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2.8</td> <td>3.9</td> <td>5.6</td> </tr> </tbody> </table>	人槽	5	7	10	循環水量 (L/min)	2.1	2.9	4.2		～	～	～		2.8	3.9	5.6
人槽	5	7	10																
循環水量 (L/min)	2.1	2.9	4.2																
	～	～	～																
	2.8	3.9	5.6																

(3) 担体流動槽

最新の維持管理要領書をご参照ください。

(4) 沈殿槽

最新の維持管理要領書をご参照ください。

(5) 消毒槽

最新の維持管理要領書をご参照ください。

(6) ブロワ

最新の維持管理要領書をご参照ください。

(7) 原水ポンプ槽および放流ポンプ槽

最新の維持管理要領書をご参照ください。